

令和6年度決算をお知らせします

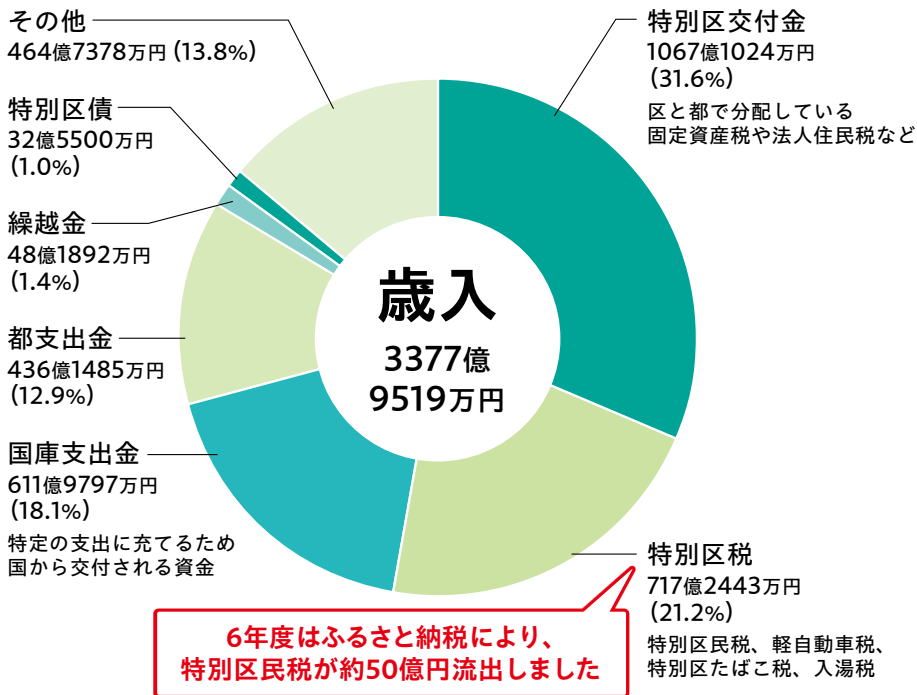
一般会計

6年度の一般会計は、歳入決算額が3377億9519万円、歳出決算額が3295億7251万円でした。

問合せ 財政課☎5984-2465

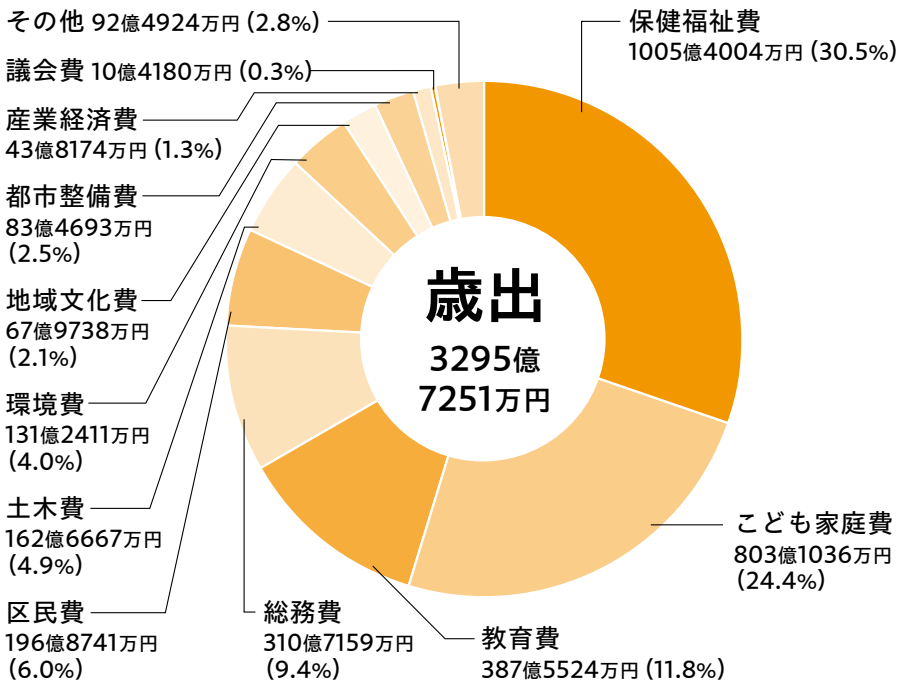
歳入

前年度比4.4%、142億719万円の増でした。主に特別区交付金が増となり、特別区税などが減となりました。



歳出 (目的別)

前年度比4.5%、143億3242万円の増でした。主に総務費が増となり、地域文化費などが減となりました。



歳出 (性質別)

前年度に比べて、義務的経費は6.5%の増、投資的経費は11.5%の減、その他の経費は6.0%の増となりました。

区分	決算額	構成比(%)
義務的経費	1801億6532万円	54.7
人件費	455億5340万円	13.8
扶助費	1283億9568万円	39.0
公債費	62億1624万円	1.9
投資的経費(普通建設事業費)	271億9149万円	8.2
その他の経費(物件費、補助費など)	1222億1570万円	37.1
計	3295億7251万円	100

特別会計

特定の収入を使って特定の事業を行う場合、収入や支出を一般会計と分けて経理する会計が特別会計です。6年度の特別会計の決算額は下表の通りです。

会計	収入済額	支出済額
国民健康保険事業会計	656億2858万円	650億2348万円
介護保険会計	642億1841万円	637億6959万円
後期高齢者医療会計	198億6333万円	198億3632万円

※公共駐車場会計で計上していた予算は、6年度から一般会計で経理しています。

財政健全化判断比率

財政健全化判断比率とは、4つの指標と基準で、地方公共団体の財政の健全性を判定するもので、法律に基づき公表が定められています。区の6年度の状況は、下表の通りです。いずれの比率も法が定めた早期健全化基準を大きく下回り、健全な状態です。

指標	内容	練馬区算定比率	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計における赤字の収入に対する比率	△2.95%	11.25%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別会計も含めた全会計における赤字の収入に対する比率	△3.49%	16.25%
実質公債費比率	区が負担する借金返済額の収入に対する比率	△2.1%	25.0%
将来負担比率	区が将来負担すべき負債の収入に対する比率	△60.9%	350.0%

貸借対照表(バランスシート)

年度末で区が保有する資産や負債、純資産の内容を一覧表で示したものです。資産の部は固定資産と流動資産の内訳、負債の部は地方債(特別区債)など将来世代が負担すべき債務、純資産の部は今までの世代が負担してきたものを示しています。

7年3月31日現在

資産の部		負債の部	
固定資産	有形固定資産(学校・道路・公園など)	固定負債	
	1兆3409億8309万円	地方債、退職手当引当金など	
	無形固定資産(ソフトウェアなど)	827億11万円	
	15億791万円	流動負債	
流動資産	投資その他の資産(基金など)	1年内償還予定地方債、預り金など	
	1113億6026万円	134億2852万円	
	現金預金	負債合計	
145億7296万円		961億2863万円	
財政調整基金など		純資産の部	
566億1994万円		純資産合計	
1兆4289億1553万円		負債・純資産合計	
資産合計		1兆5250億4416万円	

ねりま区報をご自宅にお届けします

新聞末購読で、区報の入手が困難な方に無料でお届けしています。希望する方は、区HPから申し込むか、お問い合わせください。☎広報係☎5984-2690

